

# 狭山事件 証拠リストが開示 再審に向けて大きな一歩

前回の第20回三者協議で、検察官は弁護団が求めた証拠物の一覧表について開示勧告されるべきでない

とする意見書を提出していた。これにたいして弁護団は反論書を出していたが、今回の第21回三者協議で検

察官は東京高検が保管する証拠物のリストを開示した。法制審議会(法相の諮問機関)が昨年9月に証拠リストを被告側に開示する制度の導入を求める司法改革案を法相に答申したことが影響したものとみられる。

開示されたのは、高検が保管しているすべての証拠物279点の名前と数量を書いた領置票。しかし、これは「リスト」であり、証拠物そのものが開示されたわけではない。また、証拠物は高検が保管している以外にも存在している可能性があるため、捜査書類などを入れた全証拠のリストを開示させることが必要である。

今回開示された「リスト」は、供述調書や捜査報告書などを除き、検察側が過去に作成した事件現場の写真。「リスト」に記載された証拠は279点あり、このうち44点は検察側がこれまで存在を明らかにしていなかった証拠で、石川さんが書いたとされるはがきなども含まれている。弁護側は確定判決で有力な証拠とされた脅迫状について「石川さんの筆跡と一致しない」と主張し筆跡に鑑定書を新証拠として提出しているため、今回明らかになったはがきの開示を求める。

また、リストの開示で番号が飛んでいた証拠品はすべて埋まったが、内容が不明のものもある。これらについて弁護団は1月23日におこなわれた第21回三者協議で説明し、また未開示の44点について開示勧告を求め

る申し立てを東京高裁に伝えた。弁護団は今後、手拭いについての新証拠と補充書、「秘密の暴露」とされた自白についての新証拠と補充書、取り調べ録音テープと2人の鑑定書をふまえた補充書が説明された。次に、尾倉功・農林水産省経営局課長補佐から「新年度予算概算要求の概要」の説明があり、とくに経営体育成支援事業の積極的な活用が提案された。質疑の後、池田部長の総括で会議を終えた。



公平な裁判をと訴える石川さんと早智子さん

開示されたのは、高検が保管しているすべての証拠物279点の名前と数量を書いた領置票。しかし、これは「リスト」であり、証拠物そのものが開示されたわけではない。また、証拠物は高検が保管している以外にも存在している可能性があるため、捜査書類などを入れた全証拠のリストを開示させることが必要である。

今回開示された「リスト」は、供述調書や捜査報告書などを除き、検察側が過去に作成した事件現場の写真。「リスト」に記載された証拠は279点あり、このうち44点は検察側がこれまで存在を明らかにしていなかった証拠で、石川さんが書いたとされるはがきなども含まれている。弁護側は確定判決で有力な証拠とされた脅迫状について「石川さんの筆跡と一致しない」と主張し筆跡に鑑定書を新証拠として提出しているため、今回明らかになったはがきの開示を求める。

また、リストの開示で番号が飛んでいた証拠品はすべて埋まったが、内容が不明のものもある。これらについて弁護団は1月23日におこなわれた第21回三者協議で説明し、また未開示の44点について開示勧告を求め

る申し立てを東京高裁に伝えた。弁護団は今後、手拭いについての新証拠と補充書、「秘密の暴露」とされた自白についての新証拠と補充書、取り調べ録音テープと2人の鑑定書をふまえた補充書が説明された。次に、尾倉功・農林水産省経営局課長補佐から「新年度予算概算要求の概要」の説明があり、とくに経営体育成支援事業の積極的な活用が提案された。質疑の後、池田部長の総括で会議を終えた。

こうした機会をつうじ、学びあい交流すること必要」とあいさつがあった。つづいて、京都府を代表し、今西伸雄・南丹広域振興局長から「この地域の農業関係について視察を頂きたい」ということで大変ありがたい。現在、京野菜のブランド化をすすめる全国展開しているが4割をこの南丹波管内で産出している」とあいさつされた。会議後、技術センターのとりくみを見学。また、亀岡市内のCO<sub>2</sub>排出規制を基本に竹の炭化と再生(クールベジタブル)のとりくみ、農業法人による京野菜ブランド、黒大豆・小豆・えびいもの生産現場を視察した。とくに、一昨年と今年、一帯の水害の直撃をうけ、黒大豆・小豆が極めて厳しい状況にあるとの報告をうけた。また、鳥獣対策の現場視察などで1日目が終わった。

2日目は、法期限後に建てられた隣保館「ミルクィウェイ」を会場に、亀岡市副市長らのあいさつ後、府農林水産部から農業政策の概要が説明された。次に、尾倉功・農林水産省経営局課長補佐から「新年度予算概算要求の概要」の説明があり、とくに経営体育成支援事業の積極的な活用が提案された。質疑の後、池田部長の総括で会議を終えた。

## 今後の日程

2015年

(2月)

- 2/3 県土整備部との意見交換会 (紀中・紀南)
- 2/4 県土整備部との意見交換会 (和市・海南・紀北)
- 2/8 青年部と県青少年課との話し合い (ビッグ愛)
- 2/8~9 全国女性活動者会議(福山市)
- 2/15 ふじ本まり子事務所びらき
- 2/16 ランチタイムデモ
- 2/20 全国教育文化運動部長会議 (HRCビル)
- 2/21~22 新宮支部青年部・県連女性部学習会 (新宮市)
- 2/23 狭山ビラ統一行動
- 2/24 部落解放中央共闘第39回総会 (東京)
- 2/25 ふじ本まり子第2回選対会議

(3月)

- 3/2~3 第72回全国大会 (東京)



農業の発展をよびかける池田清郎・中執



生産現場を観察する部員

2日目は、法期限後に建てられた隣保館「ミルクィウェイ」を会場に、亀岡市副市長らのあいさつ後、府農林水産部から農業政策の概要が説明された。次に、尾倉功・農林水産省経営局課長補佐から「新年度予算概算要求の概要」の説明があり、とくに経営体育成支援事業の積極的な活用が提案された。質疑の後、池田部長の総括で会議を終えた。

## 支局からののお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思えます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先) 〒640-8314 和歌山市神前405-3 部落解放同盟県連合会内 解放新聞和歌山支局宛